

# 小学校第3学年音楽科学習指導案

東京学芸大学附属世田谷小学校 森尻彩

## 1 題材名「音楽物語を聴こう」

教材：《ピーターと狼》（S. プロコフィエフ作曲） 対象：第3学年3組34名

## 2 題材のねらい

音楽を構成している要素と、ストーリーや登場人物を関連づけながら鑑賞し、感じ取ったことやその根拠を言葉や身体で表す。

## 3 評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲の曲想とその変化を感じ取って聴く活動に進んで取り組もうとしている。</li> <li>・ 音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気をつけて聴く活動に進んで取り組もうとしている。</li> <li>・ 想像したことや感じ取ったことを言葉などで表し、楽曲の特徴やよさに気付いて聴く学習に進んで取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲想の変化を感じ取って聴いている。</li> <li>・ 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら聴いている。</li> <li>・ 曲想の変化や音楽を形づくっている要素との関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉などで表すなどして楽曲の特徴やよさに気付きながら聴いている。</li> </ul>

## 4 指導計画

時	○学習内容 ●学習活動	◇教師の手
1	<p>○動物をモチーフにした音楽と物語を聴き、それぞれの曲の雰囲気を感じ取る。</p> <p>●音楽ブックトークをきいてイメージをひろげる。</p> <p>教材：『11ぴきのねことへんなねこ』、『じてんしゃにのるあひるくん』、『フルリーナと山の鳥』、《踊る子猫》、《ピーターと狼》、《組曲「動物の謝肉祭」より雌鳥と雄鳥》</p>	<p>◇司書と連携し、音楽と本の双方から想像をひろげられるようにする。</p> <p>◆楽曲から動物の特徴や行動をイメージしようとしている。</p>
2	<p>○楽曲を構成している複数の要素を物語の場面と関連させながら聴いてみる。</p> <p>●《ピーターと狼》の1部分を聴き、重なり合う音色やメロディーの特徴を物語の場面と結びつける。</p>	<p>◇2つのモチーフが出てくる場面を選び、それぞれの違いを対比させながら聴き取れるようにする。</p> <p>◆音楽の要素と登場人物の性格を結びつけようとしている。</p>

3	<p>○登場人物を表すメロディーの音色、リズム、速度、音の重なりなどの特徴を聴き取り、キャラクターやその様子と関連づける。</p> <p>●《ピーターと狼》の小鳥、アヒル、ネコ、オオカミのモチーフを、それらが生み出す雰囲気と音楽の要素を関連させながら聴く。</p>	<p>◇キャラクターごとの音楽の要素の違いとそれらによって感じ取る雰囲気を学級全体で確認できるようなワークシートや板書をする。</p> <p>◆音楽の要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさなどを感じ取っている。</p>
4	<p>○楽曲の特徴と物語を関連させながら鑑賞をする。</p> <p>●《ピーターと狼》の1部分を聴き、3時で聴き取ったモチーフの特徴や音楽の要素と、その場面で起こっていることを関連づける。</p>	<p>◇モチーフが1つずつ現れ、変化を感じ取りやすい場面を選び、音楽と物語の展開がつながりやすいようにする。</p> <p>◆音楽の要素を感じ取り、物語の場面や登場人物とつなげながら言葉で表現をしている。</p>
5	<p>○ライトモチーフの変化や反復から物語や楽曲の展開を楽しむ。</p> <p>●《ピーターと狼》の全曲を鑑賞する。</p>	<p>◇映像とともに曲を提示することで、物語の展開と楽曲を結びつけながら鑑賞できるようにする。</p> <p>◆曲想の特徴や変化を感じ取り、物語の展開と関連させながら聴いている。</p>

## 7 本時の展開

### (1) 本時のねらい

- ・動物をテーマにした物語や音楽から、情景や動物の様子を想像しながら聴く

### (2) 本時の展開

◇学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意点 □評価
<p>◇《踊る子猫》を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猫が「ニャーオ～」って言っているみたい</li> <li>・小さい白い猫が踊っている</li> <li>・ゆっくりしているから呑気な猫かな</li> </ul> <p>◇《ピーターと狼》の猫のモチーフを聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塀の上を猫が歩いているみたい。</li> <li>・低い音がするから忍び寄っているみたい。</li> </ul> <p>◇『11ぴきのねことへんなねこ』</p> <p>◇『じてんしゃにのるあひるくん』</p> <p>◇《ピーターと狼》のアヒルのモチーフを聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語のアヒルと少し違いそうだな</li> </ul> <p>◇『フルリーナと山の鳥』</p> <p>◇《ピーターと狼》の小鳥のモチーフを聴く。</p> <p>◇《組曲「動物の謝肉祭」より「雌鳥と雄鳥」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥がけんかしているみたい</li> </ul>	<p>○前時までの学習で、物語の内容と音楽を結びつけられていなかった児童を指名するなどして、本時の鑑賞場面を想像しやすくする。</p> <p>○鑑賞の観点を確認し、次の学習活動につなげる。</p> <p>○本の挿絵を数枚提示し、どの場面だと思ったのか理由とともに考えられるようにする。</p> <p>○登場人物、起こっていることなどと音楽の要素が関連するようにワークシートの記述を例示する。</p> <p>□音楽の要素を感じ取り、物語の場面や登場人物とつなげながら言葉で表現をしている。</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>○小グループやペアで考えの交流ができるようにする。</p>